Web 演習の課題である「公欠システム」についてのヒント集です。

1. カレンダーコントロールについて

カレンダーの表示については、HTML5より存在するカレンダーコントロールを使うとらくちんです。

- 例) <input type="date" name="date">
- ↓こんな感じで表示されます

公欠日



※ただし、エクリプスの内部ブラウザは HTML 5 に対応していないので、ただのテキストになります。動作確認するときは、FireFox やクロームなどで確認しましょう。

また、上記の例であればサーブレット側で入力情報を取得するのは

例えば、入力画面で 2019 年 10 月 1 日を選ぶと、変数 dateString には "2019-10-01" という形でハイフン区切りの文字列で値が格納されます。

2. 日付の変換について

ビーンズに格納するときに String→Date の変換が必要なります。

日付の変換は SimpleDateFormat を使うとできます。以下例です。

```
//文字列→日付の変換』

String dateValue = "2019-11-01";』

try{』

SimpleDateFormat sdf = new SimpleDateFormat("yyyy-MM-dd");』

Date date = sdf.parse(dateValue);』

}catch(ParseException e){』

//エラー時の処理』

}』
```

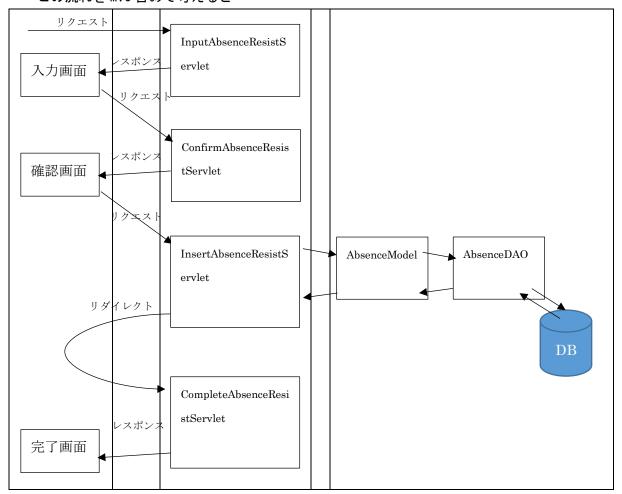
詳細は調べてみよう!

3. 登録処理の流れについて

登録の処理の画面遷移は以下のようになります。

登録画面→確認画面→完了画面

この流れを MVC 含めて考えると



DB に値を挿入するタイミングは確認画面で登録ボタンを押したとき、つまり InsertAbsenceResistServlet で行います。

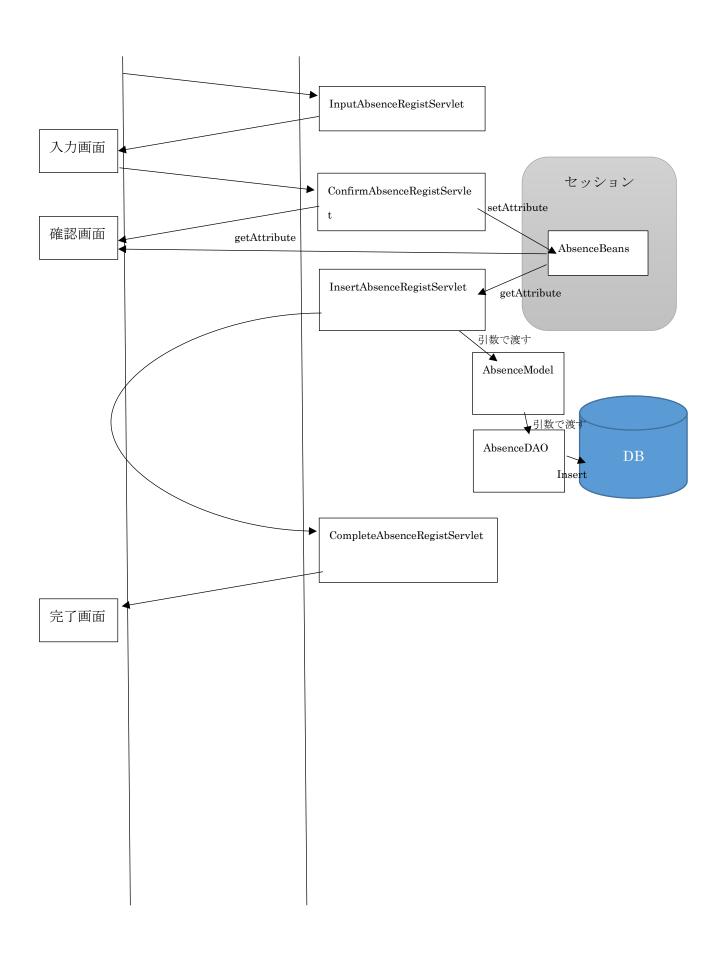
挿入するデータは最初の入力画面で入力した値です。言い方を変えると**入力画面で入力した値を完了画面表示直前で挿入**するのです

要するに、リクエスト(画面)をまたいで、入力した情報を持ちまわらなければなりません。

リクエストをまたいで情報を保持するときに使用するのは「セッション」でしたね。

そう、登録画面の流れはセッションを使用して実現します。

セッションを含めた流れを図にしたものは以下の通りです



登録処理のソースヒント

ConfirmAbsenceResistServlet

InsertAbsenceResistServlet

```
WebServlet("/absence_insert")』
public class InsertAbsenceResistServlet extends HttpServlet {』

**BOverride』
protected void doPost(HttpServletRequest request, HttpServletResponse response)』
throws ServletException, IOException』
{』

//セッションから値を取得』

//登録処理』

//セッション情報を削除』
session.removeAttribute("absenceBeans");』

//完了画面ヘリタイレクト』

}』
```

AbsenceMode I

```
public class AbsenceModel {--
    /**』
* 公欠届の一覧を取得する(全権取得)』
*』
* Breturn』
    public List<AbsenceBeans> getList(){
   List<AbsenceBeans> list = null;
}
        AbsenceDao absenceDao = new AbsenceDao();↓
             //DB接続』
             //一覧を取得。
        }finally{』
//DB切断。
        <u>return</u> list;↓
    /**』
* 公欠届の新規挿入』
     *##
* @param absenceBeans#
    public void insert(AbsenceBeans absenceBeans){
         AbsenceDao absenceDao = new AbsenceDao();↓
              //DB接続
              //情報を挿入する
        }finally{⇒
//DB七刀胜斤
    \mathbb{I}_{v} \big\{
با
إيا
```